



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.2.10 No. 4733

★ 第38回定期委員会に結集を (2月20日 金) 13時～ 千葉市民会館

新たな飛躍に向けて

第38回定期委員会(2月20日 金) 13時～ 千葉市民会館) に結集しよう。

われわれをとりまく内外の情勢は大きく揺れ動いている。資本主義体制の破局の始まり、金融危機―大倒産・大失業というかつて経験したことのない情勢のなかで、一切の犠牲が労働者におしつけられようとしている。また、国鉄闘争をめぐる攻防戦も、一〇四七名の解雇撤回闘争や28兆円の旧国鉄債務の処理方針を巡って重要な正念場を迎えている。

新たな飛躍を!

動労千葉の闘いにも新たな飛躍が求められている。労働運動は、情勢に真正面から立ち向かうことができなくなったとき、つねに内部から腐り始めるものだ。われわれはこの20年間、労働運動が全体として大きく後退してゆく情勢をつき破って、分離・独立の闘いをやりぬき、三里塚ジェット闘争を闘い、分割・民営化攻撃に対してもただ一人真正面から闘いを挑み、そして28名の公労法解雇撤回の勝利をかちとつた。動労千葉は、他の多くの労働組合のように、「情勢の厳しさ」などを理由に自らをごまかして一歩一歩後退させてしまったり、敵にすり寄ったりするような方針は一度もとらなかつた。どんなときにも団結を武器に、時代に真正面から立ち向ってきたのである。われわれは今また新たな飛躍のステップに立った。大激動の

情勢に対応し得る新たな闘いの路線、そして何よりもどのような攻撃にも揺るがない団結、「新しい世代の動労千葉」をつくりあげなければならぬ。そのために、全組合員の英知を結集し、組織をあげた議論を開始しよう。

三月に向けて!

われわれは、第38回定期委員会を出発点として、四つの課題を掲げて、98春闘に向けた一カ月の総決起・総行動を全力で闘いぬく。

● 新たな春闘を!

第一の課題は、98春闘を「大失業と戦争の時代」に立ち向う新たな春闘、新たな労働運動の出発点とすることだ。そのため動労千葉は、三月八日、労働スクエア東京で、闘う労働運動の新たな潮流の本格的な発展をめざす春闘総決起集会を呼びかけた。このような時代にこそ労働者は団結をとり戻さなければならぬ。許すな! 首切り! 生活破壊! ストライキで大幅賃上げをかちとろう! 貨物格差をはね返そう。

● 一〇四七名の勝利を

第二の課題は、最大の勝負のときを迎えた一〇四七名の解雇撤回闘争の全力で立ちあがることだ。東京地裁の「和解案」に示されたように、危機にたつ橋本政権は、国鉄闘争の存在をもうこれ以上許すことはできないというはらを固め、闘争終決に向けた攻撃をしかけている。2月

5日、自民党は、旧国鉄債務のJR追加負担について、法案として国会に提出することを最終的に確認し、JR各社に通告した。JRとJR総連・革マルの結託体制もその存立基盤が足元から崩れようとしている。

こうした情勢を背景として国鉄闘争は、大きな勝負のときを迎えたのである。10年に及ぶわれわれの闘いがいよいよ敵を追い詰めていることに確信をもつて、今こそ、泰然自若として闘いの原則を貫こう。

● 強制配転に風穴を!

第三の課題は、JR総連・革マル結託体制を打ち破り、強制配転・土職登用差別粉砕に向けた闘いに立ちあがることだ。何としても風穴をあけよう。怒りも新たに、職場からJR総連解体・結託体制粉砕に向けた闘いをまき起こし、ストライキを含むあらゆる手段で強制配転された仲間たちを奪い返そう。職場から一切の不当労働行為を根絶しよう。職場全員の署名を集めよう。

● 反合・運転保安確立!

第四の課題は、三月ダイヤ改正・運転保安確立に向けた闘いに立ちあがることだ。三月ダイヤ改正は、今後予想される大合理化攻撃との前哨戦だ。JR貨物は、乗務員勤務制度の再改善を提案しようとしており、JR東日本は、構内作業の全面外注化攻撃の提案を行おうとしている。また、大月駅事故に示されたように、運転保安は深刻な危機にたつている。10年間に及

ぶ結託体制による支配の結果、職場はガタガタだ。98春闘と結合して、反合・運転保安闘争の再強化をかちとろう。

戦争政策阻止!

橋本政権は、今通常国会に「新ガイドライン関連法」を上程することを公言した。戦争のための有事立法だ。危機にたつ橋本政権は、戦後の社会のあり方を全てにわたって覆し、戦争のできる国家体制に日本を脱皮させようというのだ。さらに橋本は、労働基準法の改悪案を国会に提出しようとしている。労働者から一切の権利を奪い、団結を奪い、自由自在に搾り取り好きなように首を切れる社会をつくらうということだ。

全力をあげて「新ガイドライン」と有事立法に反対する百万人署名運動」を成功させ、有事立法の制定、労働法制の改悪を何としても阻止しよう!

「日本の労働者が今の生活を維持していくためには軍事力をもつて他国の労働者を犠牲にしても仕方ない」と公言する連合路線と対決し、今こそ闘う労働運動の新しい潮流運動の本格的な発展をかちとろう。

第38回定期委員会

★ 2月20日 金 13時

★ 千葉市民会館

● 全力で結集を!